

《総合計画特別委員会 (H27.10.16、10.30) の意見に基づく総合戦略(案)の修正》

戦略(案)修正箇所	意見等	委員会での対応	補足説明等	戦略(案)修正内容
13ページ 戦略目標(2) 指標	JR草津駅、南草津駅の利用状況について、観光入込客数から考えると、1日あたり500人しか増加しないのかというイメージを持つ。観光客増加見込み数の1日あたり600人がすべてJRを使うとは限らないが、住む人たちだけではなくて来る人たちの数も見えていかねばならない。	過去には、2011年の南草津駅新快速停車などを機に、利用者数は大きく伸びている。今後の住宅開発の大規模な誘致は、追分丸尾など概ね収束しており、プリムタウンや立命館の学部移転は動向等が見通せない変わり目の時期にある。少ないという感覚は市もやりとりをしたところであり、上方修正を含めて検討する。		戦略目標(2)の指標「JR草津駅・南草津駅乗車人員」を訂正した。 ・現状値(H26) 57,500人⇒55,972人 ・目標値(H31) 58,000人⇒59,000人 現状値はJR西日本の公表値を再確認し、訂正した。 目標値はH25年度とH26年度実績の伸び率をもとに、上方修正して再設定した。 なお、平成27年4月に立命館大学経営学部がびわこ・くさつキャンパスから大阪いばらきキャンパスに移転された点も踏まえて目標値を設定していることを注釈に記載した。
16ページ 戦略プロジェクト③ 主な施策	主な施策「草津川跡地の整備」や「中心市街地の賑わいの創出」は、戦略プロジェクト「多様な交流の促進」だけでなく「住みよいまちへの心の醸成」に記載されるべきものではないか。	総合計画ではリーディングプロジェクトとして、強く成果を望まれて他にも好影響をもたらすということをもって本市の施策の推進力とすべく位置づけている。観光を含めた交流を呼び込むことで位置付けているが、住みよいまちを実感し、市の魅力を感じていただくという位置づけを、表現も含めて検討する。		戦略プロジェクト③の主な施策に、中心市街地活性化および草津川跡地整備に関する項目を追記した。
17ページ 戦略プロジェクト⑤ KPI	【委員会終了後の個別意見】KPIにある観光入込客数の数値について、単位の表記が不自然ではないか。また、数値が正しいか確認されたい		単位表記を「千人」としていたが、「万人」単位の修正する。また、数値については正しいことを確認した。	戦略プロジェクト⑤のKPIの単位表記を「千人」から「万人」に修正した。

戦略(案)修正箇所	意見等	委員会での対応	補足説明等	戦略(案)修正内容
18ページ 戦略プロジェクト⑥ 本文3行目	ビジョンの達成には総合行政のもとでやらなければいけない。人口ビジョンもしかり、都市計画法や農地法における条件整備が必要である。限られた市街化区域の中では高層マンション化を危惧するので、かつての50戸連たんや守山市の地区計画のような制度を取り入れることも検討し、ビジョンとの整合を図られたい。	幅広い分野に対応する総合戦略であるので、庁内の連携をしっかりとしていきたい。規制緩和の部分では権限委譲も一部進んでおり、県内市町と県との研究会を重ねている。今後も勉強を重ねながら庁内連携を強めていきたい。	総合戦略の推進に向けて、関係する部局が一丸となって取り組むとともに、市民の皆様、各関係団体等との連携・協力体制を強化していきたい。 地域課題を踏まえた地域活性化策のあり方などを調査・研究しつつ、地域再生計画を含め、市域の限られた土地を有効活用することについても検討する。	戦略プロジェクト⑥の本文中に、「市域の限られた土地の有効活用について検討し、」を追記した。
19ページ 戦略プロジェクト⑦ KPI、注釈	【委員会終了後の個別意見】 KPIにある平均寿命と健康寿命の差が非常に短い、国が公表している数値(平均寿命と健康寿命の差男性9.02年、女性12.40年)と近い数字にならないのか、確認されたい。		本市の健康寿命の算出方法を再確認し、数値に誤りのないことを確認した。 なお、国と市町村で健康寿命の算出方法が異なることから、市民に対してよりわかりやすい表現となるよう、KPIは平均寿命と健康寿命の差から、健康寿命に変更したうえで、注釈による解説を加える。	戦略プロジェクト⑦のKPIを「平均寿命と健康寿命の差」から「健康寿命」に修正したうえで、健康寿命の算出方法が国と市町村で異なることを注釈に記載した。
13ページ他 戦略目標および戦略プロジェクトの目標値	過去の実績からの予想値ではなく、もう一歩高い値を設定するのが目標値なので、上方修正するならばその思いを込めてどの項目についても見直してはどうか。	目標値の設定については検討するが、今までも総合計画の中でやっている重点事業の目標でもあるので、急激に上げていくのはなかなか難しい部分があるのではないかと、実現可能性も踏まえながら検討したい。		市民意識調査に基づく戦略目標およびKPIの目標値等を、実現可能性も踏まえたうえで上方修正した。 なお、訂正も含めて目標値を修正した戦略目標およびKPIは欄外のとおりとした。

※目標値を修正した戦略目標およびKPI

- ・戦略目標(2)「JR草津駅・南草津駅乗車人員(年度間1日平均)・・・58,000人→59,000人
- ・戦略目標(3)「いきいきとした高齢社会の実現に満足している市民の割合」・・・26.5%→28%
- ・戦略プロジェクト①「子育てしやすいと思う市民の割合」・・・70%→84%
- ・戦略プロジェクト④「創業・第二創業などの企業の立地件数」・・・15企業→20企業(H27～31累計)
- ・戦略プロジェクト⑥「公共交通機関の利便性に満足している市民の割合」・・・45.3%→46%
- ・戦略プロジェクト⑦「健康寿命(平均自立期間)・・・『平均寿命と健康寿命の差』から『健康寿命』に修正